



平成23年度施政方針と予算

町長 鶴田 忠良

平成23年度施政方針及び予算編成について御説明いたします。施政方針であります。第1次上毛町総合計画に基づいた行財政改革、産業の振興、少子高齢化対策の重点施策はまだ道半ばであり、今年度も引き続き着実な実現のため一層の努力を行わなければなりません。特に少子高齢化対策を最重要課題とし、過疎化対策とともに解決に努力することといたします。

また、「環境の町」上毛町のかげがえのない自然環境を守り育てるとともに、住民一人ひとりがCO₂削減のための生活習慣や良好な居住環境を構築するため、各家庭における太陽光発電の助成事業並びに合併浄化槽設置事業補助金の拡大等の取り組みも続け、上毛町としての個性や独

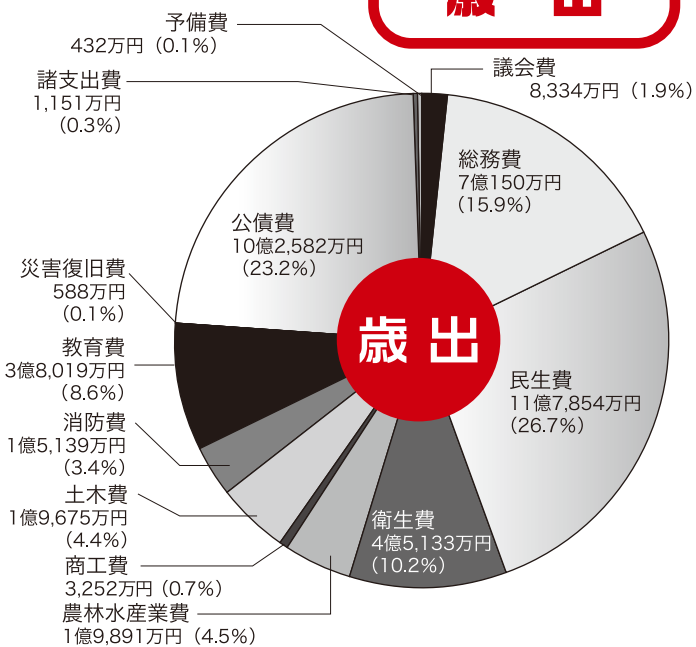
自性を発揮することにより、生活環境の充実を進め、町民の定住化を促進し、豊かな住みよい町として、さらなる発展を目指し、努力すべきと考えます。

予算編成につきましては、行政改革大綱を踏まえ、徹底した事業の選択と集中化を図り、一層の歳出削減、歳入確保に取り組むとともに、以下のとおり本年度予算の執行を目指したところであります。

平成23年度の主な事業

- 「食」による観光客誘致促進事業
- 地域づくり活動支援事業
- 放課後児童健全育成事業
- 三世同居支援事業
- 広域シルバー人材センター事業
- 鳥獣被害対策事業
- 地籍調査事業
- 荒廃森林再生事業
- 住宅用太陽光発電システム設置補助事業
- 合併処理浄化槽設置補助事業
- 地域活力基盤創造交付金事業(上毛スマートIC関連)
- 上毛塾の開講

歳出



歳入

議会費

議会の運営に係る経費

前年度比 **1,497万円の増 (+21.9%)**

議員の報酬、職員の給与等及び議会運営に必要な経費です。

総務費

庁舎等の維持管理、企画、交通安全、選挙、課税等に係る経費

前年度比 **1,470万円の減 (△2.1%)**

主要事業
 国土利用計画策定事業 1,473千円
 地域人材育成事業(介護福祉士) 4,514千円
 地域づくり活動支援事業 8,178千円

民生費

児童福祉・老人福祉等に係る経費

前年度比 **4,522万円の増 (+4.0%)**

主要事業
 広域シルバー人材センター事業 4,400千円
 三世同居支援事業 6,990千円

衛生費

健診等の医療費、健康対策、環境衛生(ごみ処理等)に係る経費

前年度比 **2,807万円の増 (+6.6%)**

主要事業
 妊婦健康診査助成事業 4,425千円
 感染症予防事業 19,188千円
 合併処理浄化槽設置補助事業 61,200千円
 太陽光発電システム設置補助事業 4,000千円

平成23年度 上毛町の予算

平成22年度：44億2,600万円

農林水産業費

農業委員会の運営、農地整備等の農林業の振興に係る経費

前年度比 **2,866万円の減 (△12.6%)**

主要事業
 地籍調査事業 33,330千円
 荒廃森林再生事業 22,680千円

商工費

商工会への補助金等、商業や工業の振興に係る経費

前年度比 **698万円の増 (+27.3%)**

主要事業
 「食」による観光客誘致促進事業 10,448千円

土木費

道路、河川、公園、町営住宅等の整備・維持管理に係る経費

前年度比 **1,738万円の減 (△8.1%)**

主要事業
 地域活力基盤創造交付金事業(上毛スマートIC関連) 24,239千円
 道路新設改良事業(農道舗装) 17,600千円

消防費

町民の安全を守る消防・防災に係る経費

前年度比 **171万円の減 (△1.1%)**

教育費

学校教育、社会教育、社会体育、国際交流、文化財保護、保健体育施設の管理運営等に係る経費

前年度比 **1,070万円の増 (+2.9%)**

主要事業
 上毛塾の開講 1,652千円
 小・中学校グリーンカーテン設置事業 2,460千円
 文化財活用まちづくり計画策定事業 2,397千円

災害復旧費

農地や水路及び道路等の災害による復旧に係る経費

前年度比 **増減なし (±0%)**

公債費

町が借り入れたお金の返済に係る経費

前年度比 **4,485万円の減 (△4.2%)**

諸支出費

町の貯金等に積み立てる経費

前年度比 **261万円の減 (△18.5%)**

一般会計 44億2,200万円

前年度比：400万円の減 (△0.1%)

町税

町民の皆さまから納められる税金(住民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税など)

前年度比 **990万円の減 (△1.6%)**

地方交付税

国税である所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税から一定の基準に基づき国から交付されるお金

前年度比 **1億8,000万円の増 (+7.9%)**

分担金及び負担金

土地改良事業分担金、保育料、福祉サービス利用負担金など

前年度比 **880万円の減 (△12.1%)**

使用料及び手数料

町営住宅、施設使用料、ゴミ処理手数料、住民票交付手数料など

前年度比 **7万円の減 (△0.1%)**

国庫支出金

町が行う特定の事務・事業に対し、国から交付される負担金や補助金など

前年度比 **6,349万円の増 (+28.1%)**

県支出金

町が行う特定の事務・事業に対し、県から交付される負担金や補助金など

前年度比 **5,094万円の減 (△15.1%)**

繰入金

基金の取り崩しにより一般会計へ繰り入れるお金など

前年度比 **8,943万円の減 (△44.4%)**

町債

町が事業を行う際、財源の不足を補てんするために借りるお金

前年度比 **1億1,780万円の減 (△29.7%)**

上毛町の貯金と借金 (平成23年3月31日現在)

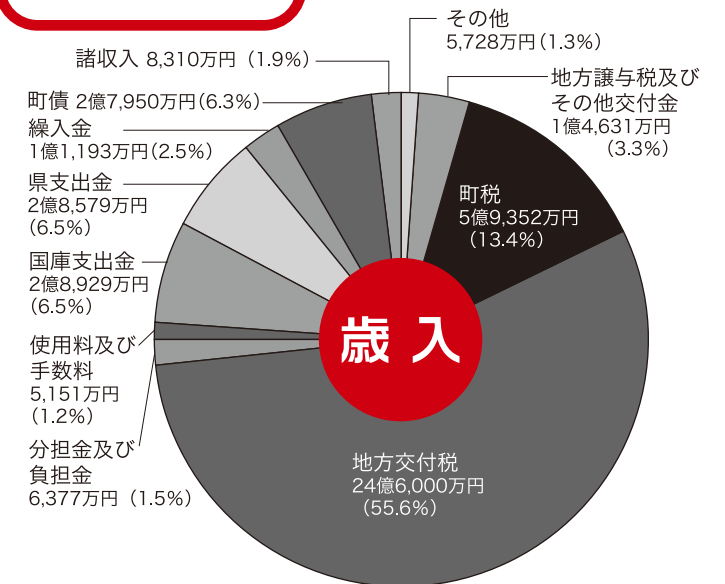
(一般会計ベース)

貯金 61億5,476万円
 住民一人あたり 76万円

借金 71億3,734万円
 住民一人あたり 88万円

※ 借金には、平成22年度借入町債を含む。

歳入



上毛町の一般会計予算・貯金・借金額を1/1000に縮小してシミュレーション 上毛太郎さんの一年間(平成23年度)の家計簿(予定)

| | | | |
|--------|-------|-------------|-------|
| 所得 | 403万円 | 生活費 | 339万円 |
| 借金 | 28万円 | 借金の返済(利子含む) | 102万円 |
| 貯金取り崩し | 11万円 | 貯金 | 1万円 |
| 総収入 | 442万円 | 総支出 | 442万円 |
| 現在の貯金額 | 615万円 | 1年後の貯金額 | 605万円 |
| 現在の借金額 | 714万円 | 1年後の借金額 | 640万円 |

特別会計

平成23年度 12億6,458万円
 平成22年度 12億7,287万円

| | |
|-------------|-----------|
| 国民健康保険 | 9億8,817万円 |
| 老人保険 | 133万円 |
| 後期高齢者医療 | 1億2,943万円 |
| 国保直営診療所 | 6,109万円 |
| 農業集落排水事業 | 5,817万円 |
| 簡易水道事業 | 5,847万円 |
| 奨学資金 | 8,021万円 |
| 住宅新築資金等貸付事業 | 7,491万円 |
| 奨学資金 | 811万円 |
| 住宅新築資金等貸付事業 | 906万円 |
| | 49万円 |
| | 69万円 |

※ 老人保健特別会計及び国民健康保険直営診療所特別会計は平成22年度で廃止します。

④ 行政コスト計算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

行政サービスには、公共施設や道路整備のような事業とは違い、福祉や教育など、直接資産を増やすものではないサービスが多くあります。そのような行政サービスにかかる経費から、使用料等の受益者負担を差し引くことにより、1年間に必要な一般財源や補助金の額を把握することができます。

経常行政経費 50億 4千万円

■ 内訳

- ◎人にかかる経費 8億 9千万円
職員給与、議員報酬など
- ◎物にかかる経費 16億 6千万円
物品購入費、施設修繕費など
- ◎移転支的経費 23億 3千万円
扶助費、補助費、繰出金など
- ◎その他の経費 1億 6千万円
町債の利子など

経常収益 9億 6千万円

施設使用料、保育料、住宅使用料、保険料などの受益者負担額

純経常行政経費 40億 8千万円

経常行政経費から経常収益を差し引いた純粋な行政経費

対象会計(9会計)とその資産規模 (単位:百万円) (平成22年3月31日 現在)

| | |
|-----------------------------|--------|
| 普通会計(一般会計・奨学資金及び住宅新築資金特別会計) | 29,050 |
| 国民健康保険特別会計 | 198 |
| 老人保健特別会計 | 6 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 3 |
| 国保直営診療所特別会計 | 6 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 1,303 |
| 簡易水道事業特別会計 | 984 |

② 資金収支計算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

1年間の現金収入と支出がどのような要因で増減したかを表しています。上毛町では、経常的収支の黒字分で、公共資産の整備や町債(借金)の返済に充てていることが分かります。

H20年度末 資金残高 3億 3千万円

H21年度収支 4千万円

■ 内訳

- ◎経常的収支額 19億 2千万円
人件費や物件費などの支出と収入の差額
- ◎公共資産整備収支額 △7億 3千万円
公共施設整備などの支出と収入の差額
- ◎投資・財務的収支額 △11億 5千万円
借入金返済などの支出と収入の差額

H21年度末資金残高

3億 7千万円

③ 純資産変動計算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

町の純資産が、1年間でどのように増減したかを表したものです。

H20年度末 純資産残高 212億円

H21年度変動高 9億 2千万円

■ 内訳

- ◎純経常行政経費 △40億 8千万円
- ◎一般財源 36億 5千万円
(地方税・地方交付税等)
- ◎国県補助金 13億 5千万円

H21年度末純資産残高

221億 2千万円

平成21年度 普通会計・特別会計決算に基づく 上毛町財務書類4表を公表します



上毛町では、財政状況をよりわかりやすく町民の皆様にご理解いただけるよう、平成20年度決算から総務省の作成基準(総務省方式改定モデル)に基づき、財務書類4表(①貸借対照表、②資金収支計算書、③純資産変動計算書、④行政コスト計算書)を作成し、公表しています。

この度、平成21年度決算に基づく上毛町一般会計及び特別会計の連結財務書類4表を作成しましたので、公表いたします。

① 貸借対照表 (平成22年3月31日 現在)

貸借対照表は、これまで町が整備してきた建物や土地などの資産がいくらあり、その財源である将来世代の負担(負債)と現役・過去世代の負担(純資産)がいくらあるかを示したものです。町が保有している資産総額は、左側に示されている約315億円であり、その資産を作るために使われたお金が、右側に示されている負債約94億円と純資産の221億円です。上毛町では、負債が30%、純資産が70%となっており、また、負債に対し将来世代に引き継ぐ資産を約3倍持っているため、財政の健全化が十分確保されていることが分かります。

資産 315億 5千万円

町が所有している財産の金額です。

■ 内訳

- ◎公共資産 253億 5千万円
道路・学校・庁舎など
- ◎投資等 34億 2千万円
基金・出資金、長期延滞債権など
- ◎流動資産 27億 8千万円
現金・預金、財政調整基金、未収金など

(うち歳計現金 3億 7千万円)

資産合計

315億 5千万円

負債 94億 3千万円

借入金(町債)や、将来の職員の退職金等、将来世代の負担で返済していく債務です。

純資産 221億 2千万円

現役・過去の世代から調達してきた財源(一般財源又は国県からの補助金)を表しています。

負債・純資産合計合計

315億 5千万円

財務書類4表からこんなことが分かりました。

町民1人あたりの資産
(資産合計/人口)

385万円

町民1人あたりの負債
(負債/人口)

115万円

町民1人あたりの行政サービスにかかる経費
(経常行政経費/人口)

61万円

資産老朽化比率
(=減価償却累計額/取得価格)

45.2%

